

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年6月21日

大阪スマートシティパートナーズフォーラムの コーディネーターに3期連続で選出されました

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、大阪スマートシティパートナーズフォーラム「データ利活用プロジェクト」の、プロジェクトコーディネーターに選出されました。

コーディネーターへの選出は、本フォーラムの設立以来3期連続となります。引き続き、地域の社会課題の解決を支援し、公民共同エコシステムモデル構築に取り組んでいきます。

1. 大阪スマートシティパートナーズフォーラムについて

市町村が抱える地域・社会課題を見える化し、産官学共同で解決するための仕組みづくりに取り組むことを目的に2020年8月に設立されました。

本年度新たに加わった上記プロジェクトを含む8つのプロジェクト※に分かれ、それぞれのコーディネーターは、地域住民のQoL（Quality of Life）向上に資する新サービスの構築を目指して取り組んでいます。

※スマートヘルスシティ、高齢者にやさしいまちづくり、子育てしやすいまちづくり、移動がスムーズなまちづくり、インバウンド・観光の再生、大阪ものづくり2.0、安全・安心なまちづくり、データ利活用

2. 取組みの概要

当社サービスを活用した以下2点の課題解決提案が評価され、コーディネーターの1社として選出されました。

本提案は当社が構築したAIによる自治体向け支援サービスを利用したものであり、6月10日には同フォーラムが主催するプロジェクト発表会にて具体策を発信しました。

今後は本サービスを自治体へ提供し、地域の社会課題解決と住民の生活の質の向上へ貢献していきます。

(1) 官民連携DXによるAI道路点検サービス

当社の通信機能付きドライブレコーダーが取得するデータと、東京大学発のスタートアップ企業のAI技術を組み合わせることで道路損傷個所を自動的に検出し、自治体等における道路点検・管理業務を支援するサービスを提供します。



地域企業とのデータ連携によって広範囲な路面情報を把握し、事故につながる危険な道路損傷の早期発見・修繕を支援することで、安全なまちづくりに貢献。

【当社オフィシャルWebサイト：[ドラレコ・ロードマネージャー](#)】

(2) 気象・災害データ×AIによる防災減災支援サービス

当社およびMS&ADインターリスク総研株式会社の開発した「防災ダッシュボード」は、自治体・防災担当による避難指示判断、減災行動、災害復旧に役立つ情報をWEB上で配信するサービスです。

本サービス提供により、住民の生命や財産を守るための防災・減災対策を支援します。

【当社オフィシャルWebサイト：[防災ダッシュボード](#)】



気象や防災に関する過去データに加え、リアルタイム情報（気象・河川情報、人流、保険金データ等）をわかりやすく可視化することで、災害状況を迅速かつ俯瞰的に把握可能とし、自治体における防災減災行動や復旧活動を支援。